

中野市環境審議会会議録

会議名	平成 29 年度 第 2 回中野市環境審議会			
日時	平成 29 年 8 月 30 日（水） 14:30～16:35			
場所	中野市働く婦人の家 軽運動室			
出席者	（審議会委員）			
	中村秀人会長	望月隆副会長	渡辺五男委員	丸山正光委員
	鈴木富夫委員	竹内義明委員	小山むつ子委員	丸山久治委員
	金井哲雄委員	山岸恒夫委員	川島幸子委員	福島芳枝委員
	（事務局）		（委託業者）	
	佐々木正くらしと文化部長		総合環境研究所 上原正人	
	竹前辰彦環境課長			
	小林登課長補佐兼環境係長			
	宮澤博之衛生係長			
	小林来世展副主幹			
坂本健太主事補				
欠席者	下川昌平委員、中島正幸委員、山浦克人委員、津金裕子委員、高澤弘幸委員、宮澤なおみ委員			
課長	（開会）			
会長	（会長あいさつ）			
部長	（部長あいさつ）			
会長	素案について事務局より説明をお願いします。			
副主幹	（計画素案により、前回からの追加・修正内容について説明）			
会長	追加・変更、説明への質問や意見をお願いします。			
委員	<p>何となく釈然としない気がする。中野市環境基本条例の基本理念の 1 項に「環境の保全は」とあるが保全すべきものとは何か。自分がよく理解できていないので、それに対して 10 年後どうなっていてほしいのかということが見えない。</p> <p>環境の現状があり、3 章の計画のめざすものとなるが、「めざす環境像」が、10 年後という比較的短期間を目指した計画としては漠然としている。もっと具体的に、先程出てきた住みよさランキングで県内一になる等、ぶち上げるほうが良いのではないかと。</p> <p>具体的な政策にいくと、「市が推進する取組」が、今それぞれの担当課でやっていることを整理して羅列しているだけのように感じる。現状は仕方ないが、目標について、今やっていることから出てくるものが設定されているが、もっと具体的に数値化できるものはしてほしい。催し物を何件するという目標があるが、それは目標ではないのではないかと。目標というのは実際に環境がこうでなくてはならないというのがあり、それを達成するために何かをやりましょうというもの。手段が目標になっているので変に感じる。</p> <p>水環境について、現状には河川 3 地点のデータしかなく、その 3 地点で測定し中野市の水質は比較的良いとしているが、中野市の水環境の最終結果が出るのは篠</p>			

	<p>井川の河口ではないか。少なくとも中野市の街部分が集約されているので、その値の現状がいくつなので、いくつにしましょう、というのが目標になるのではないか。毎年6月の第一日曜日に角間川と横湯川が交差する付近、夜間瀬橋と篠井川の水環境を計測しに行っている。篠井川の河口は全然違っている。悪い地点をベンチマークにして具体的な数値を示すことができれば良いのではないか。</p> <p>市内での計画のとりまとめに、10年後に課長になるような年代の人がどれくらい関わっているのか。10年後に主力になるような人たちが意見を出し合って、10年後、こんな中野市にしたいという夢が盛り込まれているのかが少し不安に思う。今やっていることをまとめてあるが、夢を形にしようとする、今やっていることではなく違う取組もしなくてはならない。計画ができ PDCA を回していく中で変わっていくのかもしれないが、もっと大きな夢を持ってほしいという感じがした。計画策定までに時間がないので、大幅に変更することは難しいと思うが、目標はこうしたい、あるべき姿はこうだというものにしてほしい。現状やっている施策を増やすことが目的ではない。見直すことができるなら見直してほしい。</p>
部長	めざす目標像は何回目かの審議会で検討しています。具体的な意見はありますか。
委員	<p>「ごみのないきれいなまちにしよう」の成果目標について、イベントに来た人にアンケートを実施し、きれいなまちになっているのかを外部の人に評価してもらえようことを目標にしてはどうか。</p> <p>農地が平成12年から27年で22%減少しているとあるが、これから10年後をどうするのか。山を含めた荒地が何haあるので何haに抑えるという目標であるとか、「多様な動植物が生育・生息できる環境を確保しよう」で、アレチウリが問題であるのなら、10年後にゼロにするのか。10年間に他の問題も出てくるかもしれないが、どのようにアレチウリをなくすのかを目標にしてはどうか。</p>
部長	「めざす環境像」を見直すという意見かと捉えていましたが、成果目標、指標を工夫したらどうかという意見でしょうか。
委員	どういうまちを10年後につくりたいのかという時に、この「めざす環境像」ではピンとこない。もっとアピールできる姿にしたい。
部長	全体の計画の組み立ては、環境基本計画は総体的な計画という位置づけであり、鳥獣や外来生物に対する個別具体的な計画、施策については、下位や別の系列で様々な計画が個別にあります。環境基本計画では細かなところまでは示せないと考えます。
委員	そのような意味では、やけに細かいところと大雑把なところがある。「環境の保全」の保全すべき環境とは何なのか。この計画の1項目ずつがそれに当たるということで良いのか。環境には漠然として広い意味があるので、それが整理され第3章につながっているのか。
部長	環境は非常に広い範囲を指しています。これまで環境審議会を行っている経過の中でも、様々な問題について環境審議会の中で議論すべきではないかという意見がありました。環境は広い分野なので、範囲を限定して計画を策定しているということではなく、意見が出たものについて取り組んでいくので、定義は漠然とし

	<p>ています。環境基本計画としては盛り込めるものは盛り込んで行きたいと考えています。市の各部署が取り組んでいるものの中で、環境に関するものを取り込んで、別の切り口であるが環境に入っている、という形態で計画づくりをした素案として示しています。様々な角度から見ると、これは違うのではないかという意見もあると思います。そのようなことも含め意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>計画をつくるに当たって 10 年後に幹部になるような主力になって中野市を支えていく人たちが、どの程度関わっているのか。</p>
部長	<p>環境課を主体として、各課に聞き取りをしています。各部署の 40 代くらいの人に聞き取りをし、内部で決裁を受け、それらの意見をまとめています。</p>
委員	<p>これから 10 年間の進捗を把握し、追加・削除していくことになると思うが、10 年後に主力になる人たちが集まり、フリーターキングで将来こうしたいというビジョンを持てるような進め方をしてほしい。</p>
部長	<p>10 年という長期間の計画であり、環境は細かなサイクルで変化しますので、その都度、計画に沿って必要な対策を各部署で対応していきます。</p>
委員	<p>中堅の人たちの想いや夢が反映できるように進めていってほしい。</p>
会長	<p>他に意見はあるか。</p>
委員	<p>「公害のない安全なまちにしよう」について、ダイオキシンは塩素化合物を燃やすと発生する。事業用のレジ袋や肉のラップ等は塩素化合物を使用していないポリエチレンを使用しているが、市民が使うラップ等はポリ塩化ビニルのものもある。市民の多くは知らないと思うので、塩素化合物を使用した製品を買わない・使わない・燃やさないという内容を市民の取組に加えてほしい。</p> <p>「循環型社会環境」の「ごみの減量化・資源化」で、資源循環はリユース・リサイクル・リターナブルの 3 つに大別できる。回収した資源を使用するという内容が記載されていない。役所では紙類は再生紙を使用していると思うが、強制的に使用させることで、最初はリサイクル品の方が高くなるが、今では紙類はほとんどが再生紙になっている。トイレットペーパーはほとんどが再生紙だが、バージンパルプを使用している製品もある。ティッシュペーパーはバージンパルプの方が安く、牛乳パックのリサイクル品は高い。リサイクル品を積極的に利用することを啓発しないと循環型にならない。実践編で、リサイクル製品を積極的に使用する、バージンパルプは使わないという取組を加えてほしい。以前住んでいた自治体では、使用できる粗大ごみを展示して市民に無料で頒布し再使用してもらっていた。リユースの取組で循環を活性化するという内容を実践編に加えてほしい。バージンパルプのトイレットペーパー、ティッシュは、市内では売らない・買わせないとまではできないとしても、市民に再生品を使うようにしてもらい、塩素化合物の製品については絶対買わないようにしてほしい。</p> <p>前回ホテルを目玉にと言った。長野県の観光のホームページでホテルの特集をしている。豊かな自然のバロメーターとも言われるホテルとあるように、良い環境の象徴となる。豊田地区の棚田の近くに住んでいるが今年は多く見られた。縦割りではなく横割りの協議会のようなものを作って、区長会、環境課、農政課、営</p>

	<p>業推進課、民間のホテルの会等の協力を得ながら、中野市ホテル鑑賞会のようなものをホームページに掲載すると知名度のない中野市のPRになるのではないかと。東京等ではホテルはとても人気がある。10年をかけ、中山間地で計画的にピンポイントの調査をしながら、〇〇年までにこのくらいをめざす。</p> <p>ノースモーキングシティ信州なかのを立ち上げてはどうか。平成30年までに市の施設敷地内禁煙、平成34年に公共的な不特定多数が出入りする場所の禁煙、平成39年に会社・事業所の敷地内禁煙を提案したい。健康福祉部と連携して取り組んでほしい。</p> <p>東日本大震災での原発の事故をうやむやにしていると思う。世界の人は福島とチェルノブイリに同じイメージを持っている。原発は廃炉までを考えるとエコでもクリーンでも安全でもない。福島の人たちの痛みを人事にしないで、中野市のこととして脱原発についてしっかり言及した方が良いのではないかと。</p> <p>ノースモーキングシティや脱原発については、中野市の環境に対する本気度を示すことになる。他都市にはない施策の展開・差別化になる。</p>
会長	委員の発言に対する意見はどうか。
部長	素案に盛り込んでいない内容もありました。委員の意見に対し他の委員はどのような意見がありますか。
委員	<p>ホテルについては賛成。都会の人は自然環境の中のホテルに郷愁を感じるようだ。豊田地区のホテルは真剣に保護していく必要がある。しかし養殖のホテルを放流するのはだめ、種のかく乱として各地で批判されている。ネットで幼虫を買えるが、それを放流してしまうと混ざって全然だめになってしまう。放流するにしても中野市の中、豊田地区の中で卵を採取し増やす等が必要。初期の水田の除草剤が水生昆虫を全滅させたと言われている。今の除草剤はだいぶ改善されているが危険はある。世界では使用禁止になっているものも使用できる状況である。流れ込んだ水が生態系に影響を及ぼすおそれがある。豊田地区のホテルは大事にする必要がある。</p> <p>原発についても賛成。シェールガス等により廃炉費用を除いても原発は割高になる。「公害等の発生の防止対策」について、豊田地区の産業廃棄物最終処分場を新たに造成することについてしっかり市で監視する必要がある。福島関係の放射性廃棄物が上手に持ち込まれてしまい、中野市の産業廃棄物処分場には放射性廃棄物がたくさん持ち込まれたという噂が流れるだけで、中野市の農産物が売れなくなる。産業廃棄物最終処分場について市がしっかり監視していくという内容を記載する。放射性廃棄物だけではなく重金属類についても。搬入されたというだけでも風評被害になり、中野市の主要産業が壊滅的な被害を受ける可能性がある。計画に盛り込み、常に意識してもらえれば問題は起こらないのではないかと。「事業者に望まれる取組」で、産業廃棄物を適正に処理するとあるが、事業者に注意を促すだけでは弱い。「市が推進する取組」に産業廃棄物最終処分場のあり方について、常に市でしっかり監視していくという項目を加えることを強く提案する。</p>
会長	委員の発言について、他に意見はあるか。

委員	<p>ホテルについては積極的に守るものではなく、結果的にいて当たり前ものになるべきと考えている。周りの環境が改善され結果的に中野市にはふつうにホテルが飛んでいるというのが正しい環境像ではないか。守っていくことは大事だが、最も大切なのは1番目の目標「みんなで学び、行動するまちにします」というところで、教育から始めるのがベストではないかと思う。市が主導するのも大事だが、そこに頼らないで、めざす環境像に「共につくる」とあるように、市民一人ひとりが意識を持ってやれるようにする。ダイオキシン問題、リサイクル製品等についても市が決めることではなく、教育の充実により市民が選択するようになることが重要だと考える。私は中野市民として人に評価されるまちに住みたいわけではないので、住みよさランキング等は気にしない。知名度のあるまちに住みたいわけでもない、ホテルで有名な市ということは興味がない。ただ、10年後に環境の問題が良くなり、積極的に保護をしなくても、街中にふつうにホテルが飛んでいる、繁殖しているまちになるような計画が策定されれば良いと思う。</p>
委員	<p>反対意見ではなく、結果的にホテルが飛ぶまちにしたい、市外の人からもうらやまれるような中野市になればということ望んでいるのは同じだと思う。ホテルがたくさん舞っていても養殖ではいけない。共通の認識を持って取り組むためには、個々個別に具体策が必要。ほうっておいても良くはならない。</p>
委員	<p>教育が一番大切だと思う。ホテルで環境問題を売っていこうとするのは反対。</p>
委員	<p>私もホテルで売っていこうとは考えていない。</p>
委員	<p>ホテルを売りにせずとも、ふつうに街中に飛んでいるのが望ましい。</p>
委員	<p>意図的にやらないと難しい。今の環境は脆弱なので、ほうっておいて復活するわけがない。モデル的な整備も必要。</p>
委員	<p>10年をかけて、そういう環境にしようということ。</p>
委員	<p>そうなるように具体的な取組を記載すれば良い。業者から買ったホテルを入れるのは真逆の方向に進むことになるので、そういうことに対してしっかりしておく必要がある。環境を育成するには今の時代、かなり意図的にやらないといけない。今の話ではほうっておけば良くなると聞こえてしまう。私は他県の人に住みたいと思う中野市になってほしい。</p>
委員	<p>私は中野市の人に住みやすいと思う市になってほしい。他県の人への評価は必要ないと思う。</p>
委員	<p>環境が良くなれば、結果的に他県の人も住みたいと思うようになる。自分が住みたくないと思うまちにしたいとは誰も思っていない。</p>
委員	<p>10年後にふつうにホテルがいるまちになるように、この10年環境保全に取り組んでいく必要があると思う。</p>
委員	<p>具体的にはどのような取組が必要と考えるのか。</p>
委員	<p>この製品にはこれだけの化学物質が含まれている、この農薬には悪い物質が含まれている、これを燃やすとこういった環境汚染になるという教育を進めていくべき。特に10年後に所帯を持って生活するような、今の10代、20代への教育が不足している。</p>

委員	昔は家の周りにホタルが飛んでいたが、今は飛んでいない。環境が変化しホタルがいなくなった。農薬の関係もあるし、水路がコンクリート3面張りになりカワニナがいなくなったことも原因。それを昔に戻そうとすると、水路は石ころだらけになってしまう。それぞれの想いや利害関係が絡み合う。
委員	土がないと幼虫から蛹になれない。意図的にホタル用の用水路を豊田地区等のゲンジボタルが残っている地域に何か所か整備すれば、カワニナはたくさんいるので繁殖する可能性が高い。すべての水路を土に戻すことはできないが、そういった取組をしないと、ホタルは復活しない。
委員	河川を選んで実施することは可能ではないか。
委員	あの堰が良いのではないかとすることは、地元の人が一番わかっている。
委員	石ではなく土が必要。環境教育をしても全部がU字溝であったらホタルはいなくなる。モデル的な整備を意図的に実施してほしい。
部長	基本計画であるので総体的・総括的な計画になります。個別の具体的な提案について、どれだけ反映できるかについては、検討させていただきます。ホタルに限らずリサイクル品や原発問題について、知らないと問題点に気づいてもらえないので、知ってもらうこと、教育が重要だと考える。市でも水質が良くないとホタルが生息しないので、下水道事業を行いホタルが復活した場所もあったので、ホタルマップを作製した時期がありました。用水路の問題についても農政課で、カワニナが生息するのはどのような環境か、用水路の水の増減、流速、水深等の条件を考慮した整備を行った箇所もあります。清掃しただけでホタルが戻ってきたという地区もあります。ホタルに限らず資源循環や原発の問題についても、様々な情報を知ってもらうことが重要であると考えます。計画書にどこまで記載できるかについては、事務局で検討させていただきます。
委員	資料は事前に目を通すために前もって送付してほしい。また、前回の意見についてどのような対応ができそうなのか、ということはある程度回答してほしい。問題があった場合には事前に郵送で良いので知らせてもらえれば、有効に検討ができる。タバコについて、子どもの通学路になるようなメインの道路は、いずれ禁煙とするという市の考えが見えるとうれしい。
会長	他に意見はあるか。
委員	イギリスが2040年までにガソリン車、ディーゼル車の販売を禁止する法案が成立した。その前にフランスでも成立している。ヨーロッパの人の環境に対する本気度を表している。2040年にヨーロッパで化石燃料車が販売できなくなれば、日本もアメリカも韓国も電気自動車等を開発するようになる。数値目標を設定することで本気度が出てくる。数値目標をはっきり立てることで、うやむやのまま解散するような会議にならないようにすると効果が高いのではないかと。
課長	市民会館喫煙所のドアについて、隙間があり臭いが出てしまうことについては、担当課から改善したいとの話がありました。
委員	ドアの開閉で出入りする関係上、どうしても公のフロアに煙が出てしまうことが問題である。

部長	<p>国では 2020 年東京オリンピックに向け公共施設の全面禁煙の法案が成立するかどうかということが進んでいます。そういった方向が示されれば、屋内の喫煙所はなくなる方向になると思います。法案が先送りになってしまったので、動向を注視している状況ですが、敷地内全禁煙という感覚ではないと思います。ヨーロッパでは室内禁煙で、屋外では喫煙可と聞いています。禁煙のあり方について、具体的な内容については取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>質問への回答や会議資料については、事前に送付したいと思います。今回は資料を事前に送付できなかつたので、まだ色々な意見があると思います。資料をご覧いただいて、意見がある場合は9月10日頃までに紙、FAX、Eメール等で提出していただきたい。その意見を取りまとめ、パブリックコメントとする案を送付します。それについては、会長、副会長への一任という形にさせていただければと考えています。その後、パブリックコメントでいただいた意見を反映した内容で、審議会に諮問しますので、審議会としての最終案を仕上げてください。今回は素案をパブリックコメントに出していくという形にしたいので、意見をいただいたものを会長、副会長に一任したいと考えています。</p>
委員	会長、副会長への一任に同意する。
会長	今後のスケジュールはどのようになるのか。
部長	資料の送付が遅かったので、9月10日をめどに、意見がある委員は文書で送付していただきたい。9月10日以降に全体の構成を整え、意見をどれくらい反映できるかも含め、会長・副会長に相談させていただき、作成したものをパブリックコメントに出す案として皆さんに配布するようにします。
会長	パブリックコメントの前に委員の皆さんに見てもらおうということか。
部長	会長・副会長に一任されているので、その内容でパブリックコメントに出すようにしたいと思います。11月の審議会で成案にするための諮問をし、期間を置いた後、答申いただければと考えています。
会長	事務局より今後の流れが示されたので、これから委員の皆さんの意見を反映した素案を作成し、正副会長で審議しパブリックコメントを実施する。その後11月に審議会を開催し諮問を受ける予定としたい。 以上で議事は終了する。
課長	事務局よりスケジュールについて、再度説明します。
副主幹	9月10日が日曜日なので、15日(金)までに意見を紙、FAX、Eメール等で提出していただきたいと思います。パブリックコメントを9月から10月にかけて予定しています。事前に委員の皆さんに案を送付しますので、意見があれば提出していただきたい。その意見を反映し、会長・副会長に確認いただいたものを素案としたいと考えています。
課長	最終案の決定は今年度中となっています。時間的には少し余裕がありますので、反映できる意見は反映していきたいと考えています。
課長	(閉会)

(以上)